

報道関係各位

2025年10月30日
大王製紙株式会社

エリエール えがおにタッチ PROJECT アカチャンホンポとの共同企画 第2弾 エリエール商品の売上げの一部を産後ケア普及に取り組む 認定 NPO 法人「マドレボニータ」へ寄付

子どもを迎えた家族が健やかに暮らすための支援活動を応援！

衛生用紙製品 No.1 ブランド^{※1}の「エリエール」を展開する大王製紙株式会社（住所：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：若林 頼房）は、からだところの触れ合いによって幸せと笑顔を増やす「エリエール えがおにタッチ PROJECT」の一環として、本プロジェクトに賛同いただいた株式会社赤ちゃん本舗（住所：大阪府大阪市、代表取締役社長：味志 謙司）と共同で、『頑張るママ、パパの素敵なおえがおへ「エール」を贈ろう！』キャンペーン^{※2}第2弾を2025年4月25日（金）～6月30日（月）に実施しました。キャンペーン期間中の売上げの一部を、産後ケアの普及を通じて「産後を起点とする社会問題（産後うつ／乳児虐待／夫婦不和）の解決」を目指す認定 NPO 法人マドレボニータへ寄付します。

同法人に寄せられた寄付金は、産後ケアの重要性を啓発するマドレボニータが行う「産後ケア教室」の開催や、多胎児の母、低体重児の母、ひとり親など、よりサポートが必要な立場にある母親たちへの産後ケア教室の受講料補助、産後ケアの啓発活動、その他、産後ケア普及のための活動に使用されます。また、今回の寄付にあたり、2025年10月29日（水）に大阪市内で寄付贈呈式と共に産後ケア教室を実施しましたので、ご報告いたします。



（左から順に）マドレボニータ 山本氏、赤ちゃん本舗 合田氏、大王製紙 小川

■ 寄付概要

【寄付先】 認定 NPO 法人マドレボニータ

【寄付額】 1,225,454 円

【寄付日】 2025年10月31日（金）



※1:インテージ SRI+ ティッシュ市場、トイレトペーパー市場、キッチンペーパー市場、ペーパータオル市場の合算（2024年度メーカー別売上金額）

■寄付贈呈式の概要

【日 時】2025年10月29日(水) 10:00~11:00

【場 所】ワークスタイリング大阪本町(大王製紙大阪支店 同ビル内)

【出席者】山本 裕子(認定NPO法人マドレボニータ 共同代表理事)

合田 輝昌(株式会社赤ちゃん本舗 商品本部統括部長)

小川 満(大王製紙株式会社 上席執行役員 H&PC 国内事業部 ヒューマン・ファミリーケア営業本部長)

【実施内容】

大王製紙と赤ちゃん本舗から寄付金の目録が贈呈され、大王製紙 小川が「マドレボニータさまの産後ケア活動に敬意を払い、この取り組みを通して支援を継続していきたい。」と挨拶をしました。その後、マドレボニータ 山本氏から感謝状が贈呈され、感謝の言葉が述べられました。

また寄付贈呈式後、赤ちゃん本舗および大王製紙の子どもを持つ従業員を中心に、マドレボニータ 山本氏による産後ケア教室が開かれました。参加者からは「産後ケアの運動の大切さを体感できました。」と感想が述べられました。

■認定NPO法人マドレボニータについて

マドレボニータは、「産後を起点とする社会問題の解決」を目指し、1998年より産前・産後のヘルスケアプログラムの開発・研究・普及に尽力してきたNPO法人です。全国約30箇所で「マドレボニータの産後ケア教室」を開催してきました。2015年から法人向けに「復職支援プログラム」も提供しています。2020年からは新型コロナウイルスの影響により外出が難しい状況下においても、産前・産後の精神的・身体的ケアを届ける方法はないかと試行錯誤を重ね、オンラインでの産後セルフケア教室を開発、展開。また現在は、広く社会に産後ケアの必要性を啓発する「産後のくらし準備講座」や「産後ケアカップル講座」など様々な取り組みにも注力しています。

【マドレボニータ公式HP】<https://www.madrebbonita.com/>

■産後ケアについて

出産後の女性は身体のダメージとホルモン変化により大きな負担を抱え、孤立や育児不安から産後うつにつながる精神的リスクも高まります。マドレボニータでは、身体を回復させるための有酸素運動や大人同士のコミュニケーション、自宅でも続けられるセルフケアを柱に心も体も元気になっていくことを目指したプログラムを実施しており、これまでに延べ7.6万人^{※2}が受講しています。国内では産後うつが約10%^{※3}に上るとされ、多くの母親が補助を必要とする現状があり、安心して子育てに臨める環境づくりに産後ケアは欠かせません。産後のサポートは母親だけでなく、子どもの健やかな成長や家族の絆を守る基盤となるため、社会全体での理解と支援が強く求められています。

※2: 2025年6月現在 ※3: 放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料(令和6年度版)より

アカチャンホンポとエリエールの取り組み

■『頑張るママ、パパの素敵なえがおへ「エールを贈ろう!」キャンペーン』をアカチャンホンポにて実施

The banner features a blue background with a red ribbon across the middle. On the left, there are photos of families and a small text box. The central text reads '頑張るママ、パパの素敵なえがおへ エールを贈ろう!' (Send a shout-out to the hardworking mom and dad's wonderful smile!). Below this, it says 'あなたもエリエール商品を買って、ママパパを応援しよう' (You can also support mom and dad by buying Eriell products). On the right, there are images of Eriell products like 'COON' and 'エリエール' (Eriell). At the bottom, it states the campaign period: '対象期間: 2025年4月25日(金)~6月30日(月)' (Campaign period: 2025.4.25(Fri)~6.30(Mon)).

「エリエール えがおにタッチ PROJECT」に賛同いただいた赤ちゃん本舗と共同で、2025年4月25日(金)~6月30日(月)に『頑張るママ、パパの素敵なえがおへ「エールを贈ろう!」キャンペーン』第2弾を実施しました。期間中に全国のアカチャンホンポおよびオンラインショップにてエリエールブランドの商品をお買い上げいただくと、売り上げの一部がマドレボニータに寄付されるキャンペーンで、今年の第1弾では1,214,989円の寄付を行い、今回の第2弾では1,225,454円の寄付を行います。

キャンペーン期間：2025年4月25日（金）～6月30日（月）

対象店舗：全国のアカチャンホンポおよびオンラインショップ

対象商品：エリエール全商品

エリエール商品購入者限定のイベントとして、2025年6月7日（土）～8日（日）に「アカチャンホンポ ららぽーと TOKYO-BAY 店」、6月21日（土）～22日（日）に「アカチャンホンポ ららぽーと EXPOCITY 店」にて、家族の触れ合いを増やすことを目的とした「親子チエキ撮影会」を開催しました。自分だけの“オリジナルグリーン”がつけられる撮影コーナーで家族の思い出を記録し、これまでの家族の絆を振り返ることができる「家族の絆シート」の配布を行いました。



「アカチャンホンポ ららぽーと TOKYO-BAY 店」での親子チエキ撮影会

■アカチャンホンポについて

「スマイルな育児を。アカチャンホンポ」をコーポレートメッセージに掲げ、妊娠・出産・子育てをサポートする専門店として北海道から沖縄まで、国内に 120 店舗以上を展開。マタニティ&ベビー・キッズに関連する商品や情報、サービスを提供し、「子育て総合支援企業」としてお客さまの気持ちに寄り添い、ライフスタイルにあったさまざまなご提案を行っています。

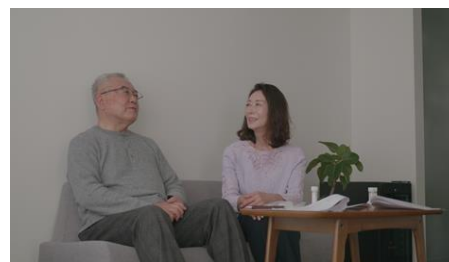
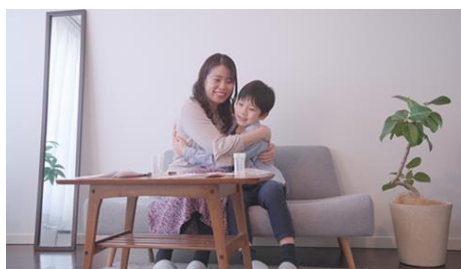
【アカチャンホンポ公式 HP】 <https://www.akachan.jp>

<参考>

エリエール えがおにタッチPROJECTについて

■プロジェクト発足の背景

単独世帯の割合が 2005 年の 29.5%から 2020 年には 38.1%※4 にまで上昇するなど、少数世帯が増えることで家庭内の触れ合いが減っていることに加え、SNSの普及によりリアルな触れ合いの機会も減少。さらには、コロナ禍においてソーシャルディスタンスやテレワークが日常になったことで、対面コミュニケーションが急速に減少しました。誕生から介護まで一人ひとりの幸せにそと寄り添うブランドでありたいと願うエリエールは、人と人とのかけがえのない触れ合いを「エッセンシャルタッチ」という言葉に込め、幸せと笑顔を増やしたい。そんな思いから「エリエール えがおにタッチPROJECT」を2022年4月に立ち上げました。



※4:総務省統計局 令和 2 年国勢調査結果

■プロジェクトの主な活動

①エッセンシャルタッチ動画の発信

「エッセンシャルタッチの大切さ」を考えるきっかけとなる 2 篇の動画を制作しました。さまざまな年代の主人公が、ふとした何気ない触れ合い（エッセンシャルタッチ）と出会うことで、笑顔になっていく姿を描いています。本プロジェクトの特設サイトにて公開しています。

「あと何回篇」



「エッセンシャルタッチ篇」



※特設サイトURL: <https://www.elleair.jp/egao-touch/>

②からだところの触れ合い＝「タッチング」のノウハウ発信

触れ合いには、手をつなぐ・さする・抱きしめ合うといった「からだ」の触れ合いと、目と目を合わせる・優しく接する・感謝を伝えるといった「こころ」の触れ合いがあります。本プロジェクトではこの2つの触れ合いの大切さを伝えるとともに、効果的に幸せホルモン「オキシトシン」を分泌させるためのタッチングノウハウを専門家の監修のもと開発し、特設サイトや「エッセンシャルタッチブック」を通して発信しています。

▼「からだ」のタッチング

身体的コミュニケーションによって、安心感・信頼感・自己肯定感を高める効果。

- ・手を当てる、手をつなぐ
- ・さする、軽くたたく、もむ
- ・ハグ、抱きしめあう



▼「こころ」のタッチング

精神的コミュニケーションによって、安心感・信頼感・自己肯定感を高める効果。

- ・好意を持った人と見つめあう
- ・相手を思いやり、やさしく声をかける
- ・感謝の言葉を伝える



③エッセンシャルタッチ講座の開催

専門家監修のもと、エッセンシャルタッチの効果と正しいタッチングノウハウを広めるために、定期的に生活者の皆さまに向けたイベントを実施しています。第1弾では「こころとからだ健やかに 親子でタッチング」をテーマに、お子さまの自己肯定感や親子の幸せと笑顔を育むためのタッチング講座を実施しました。今後のスケジュールについては、決まり次第、特設サイトや SNS などでお知らせします。



④ファンコミュニティ「えがおにタッチ コミュニティ supported by エリエール」の開設

人の幸せにつながるかけがえのない触れ合いである「エッセンシャルタッチ」をテーマに、参加者は「人との触れ合い」や「コミュニケーション」について対話しながら、触れ合いの大切さについて知ったり、プロジェクトやエッセンシャルタッチについて理解を深めたりすることができます。コミュニティを通じて生活者とつながり、得られるリアルな声やインサイトを活用し、「えがおにタッチ PROJECT」の普及・啓発を目指しています。

【ファンコミュニティ】 <https://www.beach.jp/community/EGAO-ELLEAIR>



⑤寄付活動

エリエール商品の売り上げの一部を地方自治体に寄付することで、人と人との「触れ合いの機会」を取り戻す活動を支援します。新たな寄付先や活動内容が確定しましたら、特設サイトおよび SNS で随時お知らせします。

【「エリエール えがおにタッチPROJECT」特設サイト】 <https://www.elleair.jp/egao-touch/>

【公式 X】 https://X.com/egaoprj_elleair

「エリエール」について

衛生用紙製品No.1ブランド*1の「エリエール」は、1979年にティッシュおよびトイレットペーパーの製造・販売を開始しました。



現在では、「エリエール」を傘ブランドに、シェアNo.1*2を誇るトイレットペーパーやティッシュ、キッチンペーパーのほか、生理用品「エリス」、吸水ケア用品「ナチュラ」、ベビー用紙おむつ「グーン」、大人用紙おむつ「アテント」、拭き掃除用品「キレキラ!」、身の回りの除菌に活躍する「除菌できるシリーズ」、高機能マスク「エリエールマスク」、ペット用品「キミおもい」など、誕生から介護まで日々の暮らしにそと寄り添うブランドを多数展開し、世界中に高品質な商品をお届けしています。



* 1: インテージSRI+ ティッシュ市場、トイレットペーパー市場、キッチンペーパー市場、ペーパータオル市場の合算（2024年度メーカー別売上金額）

* 2: 2024年1～12月 インテージSRI+ ティッシュ市場/トイレット市場/キッチンペーパー市場 シリーズ計 累計販売金額